



# Google Cloud Platform にデータブローカーをインストールする Cloud Manager

Ben Cammett  
April 24, 2021

# 目次

|  |   |
|--|---|
| Google Cloud Platform にデータブローカーをインストールする ..... | 1 |
| サポートされる GCP リージョン .....                        | 1 |
| ネットワーク要件 .....                                 | 1 |
| GCP にデータブローカーを導入するために必要な権限 .....               | 1 |
| サービスアカウントに必要な権限 .....                          | 1 |
| データブローカーのインストール .....                          | 2 |
| 他の Google Cloud プロジェクトでバケットを使用する権限を付与する .....  | 3 |

# Google Cloud Platform にデータブローカーをインストールする

新しいデータブローカーを作成する場合、GCP Data Broker オプションを選択して、VPC 内の新しい仮想マシンインスタンスにデータブローカーソフトウェアを導入します。Cloud Sync ではインストールプロセスがガイドされますが、インストールの準備に役立つように、このページの要件と手順が繰り返されています。

また、クラウド内または社内の既存の Linux ホストにデータブローカーをインストールすることもできます。["詳細はこちら。"](#)

## サポートされる GCP リージョン

すべてのリージョンがサポートされています。

## ネットワーク要件

- データブローカーは、アウトバウンドインターネット接続を必要としているため、クラウド同期サービスにポート 443 経由のタスクをポーリングできます。

Cloud Sync は、GCP にデータブローカーを導入すると、必要なアウトバウンド通信を可能にするセキュリティグループを作成します。

アウトバウンド接続を制限する必要がある場合は、を参照してください ["データブローカーが連絡するエンドポイントのリスト"](#)。

- ネットワークタイムプロトコル ( NTP ) サービスを使用するように、ソース、ターゲット、およびデータブローカーを設定することを推奨します。3 つのコンポーネント間の時間差は 5 分を超えないようにしてください。

## GCP にデータブローカーを導入するために必要な権限

データブローカーを導入する GCP ユーザに次の権限があることを確認します。

```
- compute.networks.list
- compute.regions.list
- deploymentmanager.deployments.create
- deploymentmanager.deployments.delete
- deploymentmanager.operations.get
- iam.serviceAccounts.list
```

## サービスアカウントに必要な権限

データブローカーを導入する場合、次の権限を持つサービスアカウントを選択する必要があります。

- `logging.logEntries.create`
- `resourcemanager.projects.get`
- `storage.buckets.get`
- `storage.buckets.list`
- `storage.objects.*`

## データブローカーのインストール


同期関係を作成するときに、データブローカーを GCP にインストールできます。

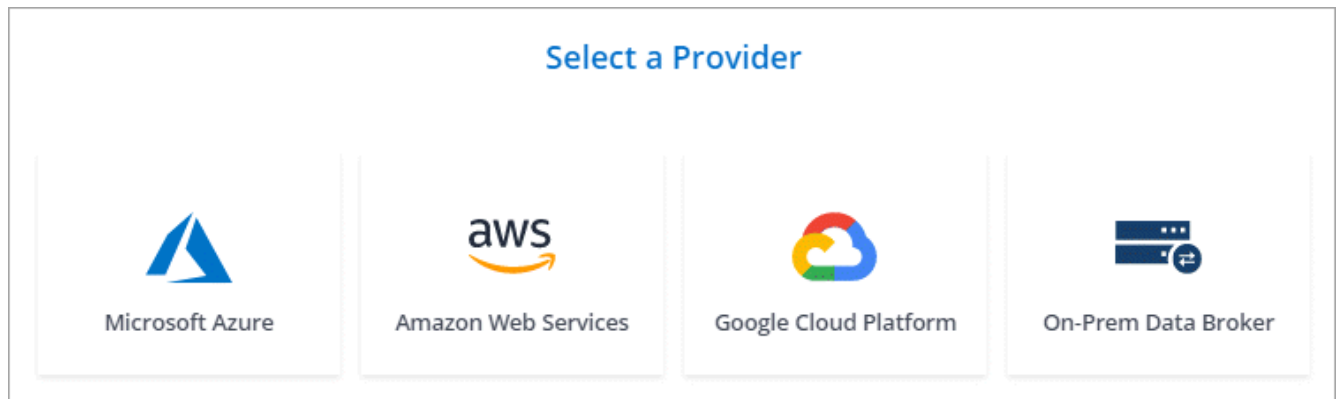
手順

1. [ 新しい同期の作成 \* ] をクリックします。
2. [ 同期関係の定義 \* ] ページで、ソースとターゲットを選択し、[ 続行 \* ] をクリックします。

「 \* データブローカー \* 」ページが表示されるまで、手順を完了します。

3. [ \* データブローカー \* ] ページで、[ \* データブローカーの作成 \* ] をクリックし、[ \* Google Cloud Platform\* ] を選択します。

データブローカーがすでにある場合は、をクリックする必要があります  最初にアイコンをクリックします



4. データブローカーの名前を入力し、[ \* 続行 ] をクリックします。
5. メッセージが表示されたら、Google アカウントでログインします。

このフォームは Google が所有およびホストしています。クレデンシャルがネットアップに提供されていません。

6. プロジェクトとサービスアカウントを選択し、データブローカーの場所を選択します。

### Basic Settings

|  |                      |
|--|----------------------|
| <b>Project</b>   | <b>Location</b>      |
| Project<br>OCCM-Dev ▼  | Region<br>us-west1 ▼ |
| Service Account<br>test ▼  | Zone<br>us-west1-a ▼ |
| Select a Service Account that includes <a href="#">these permissions</a> | VPC<br>default ▼     |
|  | Subnet<br>default ▼  |

7. VPC でのインターネットアクセスにプロキシが必要な場合は、プロキシの設定を指定します。

インターネットアクセスにプロキシが必要な場合は、データブローカーと同じサービスアカウントを Google Cloud で使用してプロキシを設定する必要があります。

8. データブローカーが利用可能になったら、Cloud Sync で [ \* 続行 ] をクリックします。

このインスタンスの導入には、約 5 ～ 10 分かかります。Cloud Sync サービスから進捗状況を監視できます。このサービスは、インスタンスが使用可能になると自動的に更新されます。

9. ウィザードのページに入力して、新しい同期関係を作成します。

GCP にデータブローカーを導入し、新しい同期関係を作成しておきます。このデータブローカーは、追加の同期関係とともに使用できます。

## 他の Google Cloud プロジェクトでバケットを使用する権限を付与する

同期関係 Cloud Sync を作成し、ソースまたはターゲットとして Google Cloud Storage を選択すると、データブローカーのサービスアカウントに使用する権限があるバケットから選択できるようになります。デフォルトでは、これにはデータブローカーサービスアカウントと同じ `_PROJECT` に含まれるバケットが含まれます。ただし、必要な権限を指定した場合は、`_other_projects` からバケットを選択できます。

### 手順

- Google Cloud Platform コンソールを開き、Cloud Storage サービスをロードします。
- 同期関係のソースまたはターゲットとして使用するバケットの名前をクリックします。
- [ **Permissions** ] をクリックします
- [ 追加 ( Add ) ] をクリックします。

5. データブローカーのサービスアカウントの名前を入力します。
6. 提供するロールを選択します [上記と同じ権限](#)。
7. [ 保存 ( Save ) ] をクリックします。

同期関係を設定するときに、そのバケットを同期関係のソースまたはターゲットとして選択できるようになりました。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.